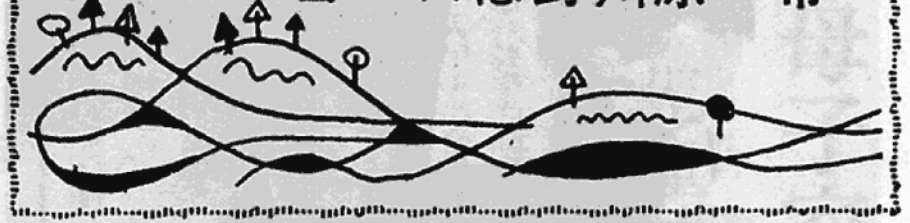


秋の市民ハイキング コースは野州原一帯



市教育委員会と日光市山岳連盟の主催で「秋の市民ハイキング」が催されます。

コースに選ばれた野州原一帯は、優雅な慈観(じかん)滝や見晴らしのよい沼の平など、変化に富んだ地帯で、約四時間ほどのコースです。

コースやゲームなども盛り込まれています。秋の一日を市民ハイキングで楽しくお過ごしください。

○とき 十月十三日(日曜)
午前八時 安良沢(要見入口)出発

○コース 裏見→イッラ峠→慈観滝→男体林道→沼ノ

市史編さん室から

資料(史料)収集に

ご協力ください

市史編さん室ではいま資料(史料)の収集、とくに第一段階として幕末、明治、大正、昭和のものの資料の所在調査に着手しており、このたびつぎの十名の方に協力をお願いいたしました。

みなさんのお宅に少しでも参考になるような書物や書類、写真、地図などがありましたら、このかたがたか、市役所市史編さん室へご連絡ください。

○ご協力をお願いしたかたがた(敬称略 順不同)

山本忠一郎(松原町) 小暮慈秀(山内) 佐藤保之(南小来川) 千田孝信(上鉢石町) 飯田 真(山内) 福田孫光(東小来川) 柴田豊久(板挽町) 佐藤治由(松原町) 植木 肇(板挽町) 若水昌善(御幸町)

社会教育委員を

橋田清氏ら24氏に委嘱

市教育委員会では、このほど社会教育に関する諸計画の立案や助言などをお願いする「社会教育委員」をつぎの24氏に委嘱しました。なお、これらのかたは公民館運営審議委員もかねられています

- 委員名(敬称略 順不同)
- 学校長
 - 橋田 清 片口光三郎
 - 堀入安三郎 本間 福治
 - 渡辺 勇三 山本 好三
 - 社会教育関係団体の代表者
 - 古橋 義朗 篠原 花子
 - 福田 のぶ 粒良 和子
 - 佐藤シツイ 山本忠一郎
 - 山本 惣平 野口 清
 - 松本 武 藤沼多三郎
 - 内海愛次郎 小平清三郎
 - 学識経験者
 - 藤岡 重孝 松田 一郎
 - 中里 昌念 谷津佐一郎
 - 斉藤 金吉 松井正八郎

26日から「文化祭」

公会堂と清滝公民館で

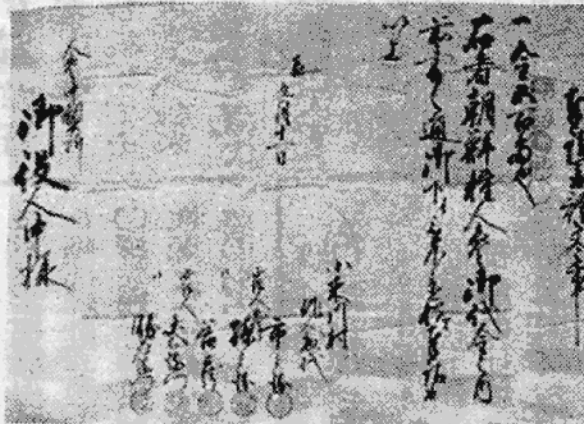
○参加資格 中学生以上の市民
○中食 各自持参のこと

十一月三日の「文化の日」にさきかけて、十月二十六日から二十八日までの三日間「第十六回日光市文化祭」が、公会堂と清滝公民館で開かれます。

○催し物
邦楽と舞踊の会(公会堂)
十月二十七日正午～五時
市内学校音楽会(日高講堂)
茶道 期間中(公会堂)
アマチュア無線公開 期間中
〔展示会に出品を希望される方は、市教育委員会にお問い合わせください。〕

文化財めぐり

名称 朝鮮種人参(日光人参)
栽培に関する記録計二十六点
所在 日光市七里 上山忠夫
〃 宮小来川 中村好敏



由来 医薬としての高麗産 目毎に幕府において高価に買朝鮮人参は、早くから高麗薬 上げられた。因みに現在の鹿沼市板荷に信使は贈物として將軍に人 参を献上する ことが例であった。この声 価の高い朝鮮 人参の国内生 産を積極的に 取り上げたの が八代將軍吉 宗であり、裁 培地にもっと も適したのが、七里、小来川板荷を中心とした下野一帯であった。これは日光神領の 気候風土が概ね原産地の北朝 鮮に近似した故であると考え られた。はじめ享保十四年に試作 が命ぜられて これに成功す るとともに栽培が展開され、 寛政年間からは幕府の管理下 におかれて特定の耕作人によ り栽培が許され、播種後四年

時代推移につれて栽培は殆んど衰滅した。この文書は、寛政以前御の御 用作となつてからの栽培状況 買上価格、耕作者の数、管理 状況等を記録したもので、人 参栽培が当地方にどのように 展開されていたかを物語る貴 重な文献史料である。

解説 文化財保護審議委 員会